



Origin Mark II

クイックセットアップガイド

日本語 v1

CE-ASOR-12100

必要な物

- 付属の AC アダプターで望遠鏡を充電するためのコンセント
- iOS16 以降が動作する、Apple デバイス、または Android 12 以降が動作する Android デバイス
- Celestron Origin アプリは、Apple App Store または Google Play から無料で入手できます。

警告

- 【絶対禁止】太陽に Origin Mark II を絶対に向けないでください。失明の危険があります。また、機器の損傷の原因となります。
- お子様や望遠鏡の操作に不慣れな方がいる場合は、絶対に望遠鏡から目を離さないでください。誤った操作は、重大な事故につながるおそれがあります。

パーツリスト

1. Origin 鏡筒
2. 対物フード
3. 高度クラッチノブ
4. 水平クラッチノブ
5. Origin 架台
6. 三脚
7. 内蔵水準器
8. 三脚開止めステー
9. 三脚高さ調整ノブ
10. AUX ポートケーブル
11. Origin Mark II カメラ
12. カメラケーブル
13. AC アダプター(右図内に画像無し)

アプリのダウンロード

Celestron Origin アプリは、Apple App Store または Google Play で直接検索するか、下記の QR コードをスキャンしてダウンロードできます。



Origin Mark II を充電する

Origin Mark II に内蔵されているリン酸鉄リチウムイオンバッテリーは、通常、約 25% 充電された状態で出荷されます。初めてのご使用前に、付属の AC アダプターで Origin Mark II を満充電まで充電してください。

1. AC アダプターをコンセントに差し込んでください。

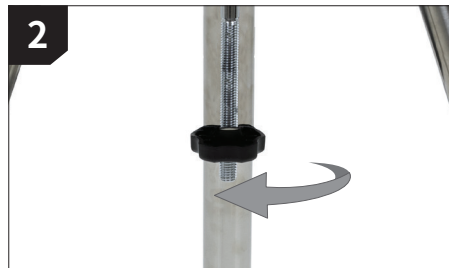
2. AC アダプターコードの先端を、Origin Mark II のフォーク式経緯台にある 12V DC 電源入力ポートに差し込んでください。バッテリーランプが点滅したら、充電が開始しています。充電が完了すると、バッテリーランプは点灯したままになります。



三脚の組み立て



三脚の脚を広げ、安定した水平な地面に設置してください。



センターポールから三脚開止めステー固定ノブナットを外してください。



三脚開止めステーの各アームが三脚の各脚に当たるようにセンターポールに差し込んでください。



三脚開止めステー固定ノブナットをセンターポールに差し込み、しっかりと締めこんでください。三脚開止めステーが三脚の脚をしっかりと支え、ぐらつかないことを確認してください。



望遠鏡を設置するのに必要な高さが得られるよう、3本の脚を伸ばし固定ネジをしっかり締めてください。三脚を水平に設置するため、脚に付いている目盛り(インデックスマーク)を利用すると便利です。



三脚上部に内蔵されている水準器を使って、三脚が完全に水平になっていることを確認してください。

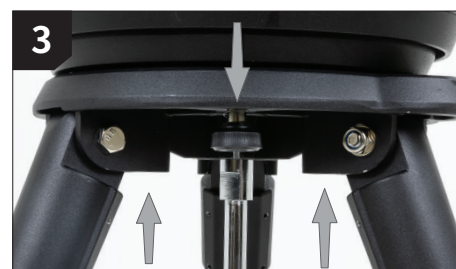
三脚にフォーク式経緯台を取り付ける



フォーク式経緯台を三脚ヘッドに載せます。ドライブベースの底部中央にある穴を、三脚ヘッド側の位置決めピンに合わせてください。フォーク式経緯台が位置決めピンにしっかりと載り、安定するまでは、絶対に手を離さないでください。



フォーク式経緯台を回転させてください。ドライブベース底部の3つのゴム足が、三脚ヘッド側の3つの凹部に正しく揃うようにします。正しくかみ合うと「カチッ」と音がします。



三脚ヘッドの下側にある固定ネジをしっかりと締めて、フォーク式経緯台を三脚に固定してください。

Origin 鏡筒をフォーク式経緯台に取り付ける



高度クラッチノブを時計回りに緩め、高度クラッチのロックを解除してください。



クイックリリースクランプが下向きになるまで高度軸を回転させた後、高度クラッチノブをしっかりと締め直してください。



Origin 鏡筒を取り付ける準備をします。鏡筒のアリガタレールがスムーズに入るよう、クイックリリースクランプを数回緩めて、十分な空間を作ってください。



Origin 鏡筒を、後方（主鏡セル）からクイックリリースクランプに差し込んでください。鏡筒を取り付けた際、フォークアームが鏡筒を左側から支える正しい位置関係になるように挿入してください。



Origin 鏡筒を両手でしっかりと保持した状態のまま、クイックリリースクランプをしっかりと締めて鏡筒を固定してください。



Origin 鏡筒の背面にある AUX ポートに AUX ケーブルを差し込み、フォーク式経緯台の側面にある AUX ポートにフェライト側を差し込んでください。

Origin 鏡筒のバランスを調整



Origin 鏡筒のバランスを確認してください。鏡筒が急に落下しないよう、下からしっかりと支えながら、高度クラッチノブを緩めてください。ゆっくりと鏡筒から手を離し、鏡筒が水平位置を保つか確認してください。

水平を保った場合は Origin は適切にバランス調整されています。このまま「Origin Mark II カメラを接続する」手順に進んでください。上下に動いた場合はバランス調整が必要です。手順 2 に進んでください。



バランス調整のため、高度クラッチノブを緩めます。鏡筒を回転させ、鏡筒が完全に水平になるまで調整してください。鏡筒が水平になったら、高度クラッチロックノブをしっかりと締めて固定してください。



クイックリリースクランプを緩めて、鏡筒をスライドできるようにしてください。鏡筒の重さを支えるため、必ず片手で鏡筒を保持した状態で、クランプをゆっくりと緩めてください。アリガタレールが手でスムーズにスライドできる程度までクランプを緩めてください。



鏡筒をわずかに前後にゆっくりとスライドさせ、望遠鏡が水平を保つようにバランスを取ってください。バランスが取れたら、クイックリリースクランプをしっかりと締めて固定してください。



鏡筒が水平を保てない場合は、上記の手順 2 ～ 4 を繰り返して、完全に水平を保って、バランスが取れるまで調整してください。

Origin Mark II カメラを接続する



対物レンズキャップを取り外します。キャップを反時計回りにわずかに回してロックを解除してください。ロックが解除されたら、キャップを真上へまっすぐ持ち上げて取り外してください。



対物フードの内側にあるフォーム製カメラ保護材を、まっすぐ引き抜いて取り外してください。このフォームは、輸送中にカメラを保護するためのものです。通常の保管時には再装着する必要はありません。Origin Mark II を元の梱包箱に入れて輸送する際には、このフォームを必ず再装着することをお勧めします。そのため、このフォームは捨てずに保管してください。



カメラに、USB ケーブルを接続してください。USB ケーブルの先端を、カメラの背面にあるポートにしっかりと差し込んでください。

Origin Mark II を使用する

Origin Mark II を屋外に持ち出し、天体撮影を始めるための準備が完了しました。

1. Origin Mark II を設置するのに最適な場所を見つけてください。建物や木などの遮蔽物がなく、最も空が広く見渡せる場所を選ぶと、最高の結果が得られます。

2. フォーク式経緯台にある電源スイッチで、Origin Mark II の電源を入れてください。

3. お使いの iOS または Android デバイスの Wi-Fi 設定画面を開き、「Origin-XXX」という ID の Origin の Wi-Fi に接続してください。

4. 初めて接続する場合、デバイスは Wi-Fi パスワードの入力を求められます。Origin ネットワークの初期パスワードは「12345555」です。セキュリティ保護のため、設定メニューのオプションから、パスワードを変更することを強くお勧めします。お使いのデバイスはパスワードを記憶するため、次回以降 Origin Mark II の操作に同じデバイスを使用する際は、パスワードを再入力する必要はありません。

注意：Origin アプリの設定画面を通じて Origin の Wi-Fi に接続する際は、パスワードを入力する必要はありません。

5. Origin アプリを起動し、アプリ画面の案内に従って操作を開始してください。



Origin Mark II は、以下のデュアルバンド機能に対応しています。

周波数帯域	帯域幅	対応規格
2.4 GHz 帯	2400 MHz ~ 2483.5 MHz	802.11 b/g/n
5 GHz 帯	5150 MHz ~ 5850 MHz	802.11 a/n/ac

Origin Mark II は、これらの帯域と規格をサポートしており、安定した高速な無線通信が可能です。

※電波法により屋外では 5.0GHz の電波を使用しないでください。

Origin Mark II の最大 RF 出力(等価等方輻射電力 EIRP)は、電波法および地域規制に応じて以下の通りです。

周波数帯域	最大 RF 出力 (EIRP)	備 考
2.4 GHz 帯	最大 20 dBm (約 100 mW)	地域および規制ドメインに応じて異なります。
5 GHz 帯	通常 18 dBm ~ 20 dBm (約 63 mW ~ 100 mW)	チャンネルと地域に応じて異なります。

正確な送信電力は、各地域の規制(米国では FCC、EU では ETS など)によって厳しく制限されています。Origin Mark II のファームウェアは、設定された国コードに応じて最大送信電力を自動で調整する仕組みになっています。これにより、ユーザーは場所を問わず現地の規制を遵守した安全な使用が可能です。

⚠ 警告

天体望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対にのぞいてはいけません。失明の危険があります。

⚠ 注意

- 本製品の動作中は、操作する部分を除き経緯台本体に触れないようにしてください。手をはさむなどケガの原因になる場合があります。
- レンズのキャップを外したままで、直射日光の下に製品を放置しないでください。望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
- 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
- キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲み込むことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

- 炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
- 本体を清掃する際に、シンナーなど強い有機溶剤を使用しないでください。
- 製品に、雨、水滴、泥、砂などがつかないようにしてください。
- レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のブロアーなどで吹き飛ばしてください。
- レンズ表面は手で直接触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合はブロアーでほこりやゴミを吹き飛ばしてから、市販のカメラ用レンズクリーナーとレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください。レンズ表面は大変デリケートですので、清掃の際はキズをつけないよう十分ご注意ください。
- 保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

保証内容について

このたびはCelestron製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品の保証内容について、下記の通りご案内いたします。

ご使用前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

■ 初期不良について

ご購入日より3ヶ月以内に発生した不具合で、弊社にて初期不良と認められた場合は、無償で商品を交換いたします。

※ 保証対応には、ご購入時のレシートや納品書などの購入証明書が必要です。

保証書の代わりとなりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

■ 保証期間

メーカーの定める操作マニュアルに従い、通常環境下で使用されている製品に発生した不具合については

ご購入日より2年間、無償で修理対応いたします。(電子部品に関しては1年間)

■ 無償保証の適用外となるケース

以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、有償での修理対応となります。

- A) 通常的使用方法以外での操作や取り扱いによる故障や損傷
- B) お客様による改造、または不適切な修理に起因する故障
- C) 地震・火災・水害などの天災や不可抗力による損傷
- D) 購入証明書(レシートや納品書等)が提示できない場合

■ 修理について

修理のご依頼は、購入証明書(レシート・納品書等)を添えて、ご購入店舗または弊社サポート窓口までご連絡ください。

修理品の送料はお客様のご負担となります。輸送中の破損・紛失について、弊社は一切の責任を負いかねます。

修理に必要な部品について、製品の販売終了後から5年間を目安に保管いたします。ただしメーカーの部品供給状況により前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

修理により交換された部品や旧製品は、有償・無償を問わずご返却いたしません。

■ 免責事項

本製品の故障、またはその使用により発生したお客様の損害(営業損失・データ損失等)については、直接的・間接的を問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。

弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品の故障に関する損害賠償責任は、ご購入金額を上限といたします。

内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

株式会社アーキサイト サポートセンター

弊社ホームページのお問い合わせフォームにて受け付けております。

<https://archisite.co.jp/contacts/celestron/>



日本正規販売代理店

株式会社 **アーキサイト**

〒110-0006

東京都台東区秋葉原5-9 明治安田生命秋葉原ビル

<https://archisite.co.jp/>